

地震発生時のタイムライン

地震発生

●まずは自分の身を守る

- 机の下に入る
- 家具やガラス面から離れる
- クッションや雑誌などで頭を保護する

緊急地震速報

震源に近い観測点で地震を察知し、直ちに震源や地震の規模(マグニチュード)などを推定し、大きな揺れが始まる数秒前から数十秒前にお知らせするシステムです。情報が出たら、身を守ることを第一に、どのような行動がとれるか、日頃から話し合っておきましょう。

緊急地震速報の流れ

地震発生

P波
(弱い揺れの波)
S波
(強い揺れの波)

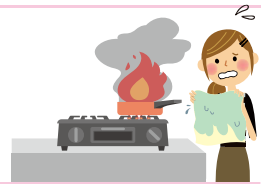


- テレビ・ラジオ
- 携帯電話
- 緊急防災無線
- でんたつくん

発生から1~2分

●揺れがおさまったら

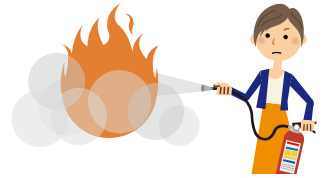
- 家族の安全を確認
- 火元を確認
- 窓や戸を開けて出口を確認
- ガラスの破片などに注意。靴や厚手のスリッパを履く
- 津波などの危険が予想される地域に住む人はすぐに避難



発生から3分

●みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかけよう
- 要配慮者の安全確保
- ケガ人はいないか
- 行方不明者はいないか
- 出火防止 初期消火
- 近所に火が出ていたら初期消火
- 余震に注意
- 避難するときは電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉める



発生から5分

●ラジオなどで正しい情報を得る

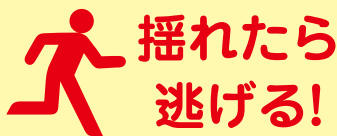
- 正しい情報をつかむ
- 電話は緊急連絡を優先する
- 家屋倒壊などの危険があれば避難



発生から10分~

●協力して消火活動、救出・救護活動

- 水、食料は蓄えているものでまかなう
- 無理はやめよう
- 助け合いの心が大切
- 災害・被害情報の収集を行い、デマ情報にまどわされない
- 壊れた家に入らない



東日本大震災では、地震発生から約30分後には津波が襲来し、非常に多くの方が犠牲となりました。地震が発生したら、津波がすぐに襲ってくると考え、ただちに避難しましょう。*岡垣町の津波予報区は「福岡県日本海沿岸」に含まれます。

特に海岸に近いところでは、津波警報や避難指示(緊急)を待っていては逃げ遅れる可能性があります。

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所に避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください!	標高の低いところでは津波が襲い、水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかなだ流失し小型船舶が転覆する。

*津波警報などの発表時には、各区分の高い方の値を、予想される津波の高さとして発表します。